

**製品名: CD133 (5M9) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe08203**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,IF-P 1:200-1:1000
分子量	97kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PROM1
別名	AC133; CD133; CORD12; hProminin; MCDR2; PROM1; Prominin like 1; Prominin1; PROML1; RP41; STGD4
遺伝子 ID	8842.0
SwissProt ID	O43490
免疫原	ヒト CD133 の組み換えタンパク質

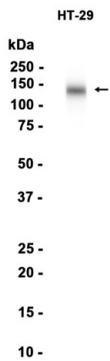
**背景**

細胞の分化、増殖、アポトーシスに関与している可能性がある (PubMed:24556617)。コレステロールを含む細胞膜マイクロドメインでコレステロールに結合し、上皮細胞の頂端細胞膜の組織化に関与している可能性がある。網膜の初期発生中に、ディスク形態形成の重要な制御因子として機能する。MAPK および Akt シグナル伝達経路の調節に関与する。神経芽細胞腫細胞では、RET 依存的に神経突起伸展などの細胞分化を抑制する。細胞の分化、増殖、アポトーシスに関与している可能性がある (PubMed:24556617)。コレステロールを含む細胞膜マイクロドメインでコレステロールに結合し、上皮細胞の頂端細胞膜の組織化に関与している可能性がある。網膜の初期発生中に、ディスク形態形成の重要な制御因子として機能する。MAPK および Akt シグナル伝達経路の調節に関与する。神経芽腫細胞では、RET 依存的に神経突起の伸展などの細胞分化を抑制します (PubMed:20818439)。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



RM6683 を 1:1000 で使用して HT-29 細胞抽出物をウェスタン ブロット分析しました。